

10月例会 特集

エアラインの利用法: 2008年下期の正解! ?

~ サーチャージとどう付き合うか ~

飛行機旅行では、値上がりが続いているサーチャージの影響が深刻になっています。目的地までの航空料金の合計が10万円、20万円を超えることが珍しくなくなってきました。サーチャージに振り回されるのではなく、むしろ、上手にコントロールして、2008年の旅行を楽しんでいきましょう。

サーチャージが、かからない旅行に変更。

ア) 近場の旅行なら、サーチャージが安くすむ。
今年状況を割り切って考え、近場(中国、台湾、韓国)を極める。また、国内(北海道、沖縄)を楽しむ。

イ) 船旅も楽しむ。
日本発のサーチャージは、割高なことが多い。
旅の第一便は船旅にして、近場(中国、台湾、韓国)へ向かう。現地発の海外発券をし、最終目的地までのサーチャージを安くする。

ウ) サーチャージが安いエアラインを活用。
たとえば香港までなら、キャセイパシフィック航空がお得。
他のエアラインより、格段にサーチャージが安い。

エ) マイル特典では、サーチャージ不要のマイルプログラムを利用。
長距離旅行に威力を発揮。ただし、2008年は人気のあるプログラムでは、特典枠を取るの難しい。

サーチャージが高くても、できる工夫。

ア) ローコストエアラインを活用する。
基本の航空運賃が驚くほど安いので、プラス、サーチャージが足されても、合計金額はそれほど高くない。

例、12月からは、オーストラリア行きのジットスターが成田に乗り入れる。

イ) 目的地別、エアラインを選び合計料金を下げる。

例、ヨーロッパの場合。

アエロフロート航空、中国系エアライン 安値検索では、常連。

KLMオランダ航空、ヨーロッパ系の中の安値では常連。

アジアナ航空、大韓航空、ソウル乗り換えなので、経由便のなかで直行便と比べ、あまり時間的差が少ない。比較的安価。

キャセイパシフィック航空、タイ航空、マレーシア航空、シンガポール航空、航空運賃自体は安価な場合が多いが、タイ航空等は、サーチャージが高くつくので注意。移動距離が長いのでマイルがたくさん貯まるメリットもあり。

2008年度の上級会員の状況

サーチャージの沸騰で、上級会員の規定マイル到達が難しい年になってしまいました。修行旅行にも多額の旅費が必要になり、マイルを貯めたとしても、マイル使用時に多額のサーチャージが必要になる例や、また、サーチャージ不要の場合も特典航空券の予約が困難な例が増えています。修行してまでもマイルを貯めるメリットがうすれてきています。

ア) 日本航空、全日空、の場合、今年は上級会員までがんばり、JGCジャパングローバルクラブや、SFCスーパーフライヤーズカードを作り、上級会員を確定させる。来年以降はカードがある限り、飛行機に乗らなくても上級会員。

イ) 日系以外のエアライン。修行と上級会員のメリットをよく考え、今年は平会員落ちする場合が、得策な場合も多いのでは。サーチャージが安くなるまで、修行はお休みするほうがいい場合も。

今年上級会員を狙う場合は、日本国内線、アメリカ国内線など、サーチャージの影響が少ない路線を活用したい。

また、マイル距離、より、回数系でクリアを目指す方法もあり。

上級会員のメリットを、代行するもの。

ア) ダブルマイルの獲得。上級会員の最大のメリットダブルマイル、ユナイテッ

ド航空なら上級会員でなくても「アワード・アクセラレーター」なる制度ができ、約1マイルにつき3円を支払うと、ダブルマイル、トリプルマイルに加算されるシステムがスタート。

イ) ラウンジの利用。上級会員にならなくても、エアラインのラウンジ使用可能な方法。それは、「プライオリティ・パス」。世界で約500ヶ所のエアラインラウンジが利用可。(成田はノースウエストラウンジのみOK)。

このパスはプラチナ系以上のクレジットカードなら特典でついている。

セゾンプラチナアメリカンエクスプレス」年会費21,000円や、「楽天プレミアムカード」年会費10,000円が安くてお勧め。